

様式第3号（第2条関係）

ばい煙発生施設 設置・使用・変更 届出書

年 月 日

（宛先） 松本市長

届出者 〇  
住 所  
氏名又は名称  
代表者氏名  
電 話 番 号

良好な生活環境の保全に関する条例（昭和48年長野県条例第11号）第29条、第30条、第31条の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		※ 受付年月日	
業 種		※ 施設番号	
主な製品又は事業の種類及び 能力規模		※ 審査結果	
ばい煙発生施設の種類			
ばい煙発生施設の構造	別紙1のとおり		
ばい煙発生施設の使用の方法	別紙2のとおり		
ばい煙の処理の方法	別紙3のとおり		
△ばい煙の排出の方法	別紙のとおり		
△ばい煙発生施設及び ばい煙処理施設の配置図	別紙のとおり		
△ばい煙の発生及びばい煙の 処理に係る操業の系統の概要	別紙のとおり		
△煙道に排出ガスの測定箇所が 設けられている場合は、その場所	別紙のとおり		
摘 要	資 本 の 額		
	常時使用する従業員の数		
	公害防止管理責任者の 氏名及び電話番号		
※備考			

- （備考） 1 届出書の種別（設置、使用、変更）については、当該届出に該当する文字を○で囲むこと。  
2 ※印の欄には、記載しないこと。  
3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。  
4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り図表等を利用すること。

## 別紙1

## ばい煙発生施設の構造

工場又は事業場における施設番号			
名 称 及 び 型 式			
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
規	火格子面積又は羽口面断面積 ( $m^2$ )		
	原 料 の 処 理 能 力 (kg/h)		
模	変 圧 器 の 定 格 容 量 (kVA)		
	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算L/h)		

(備考)

- 1 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、別表第2の中欄に掲げる施設の当該右欄に規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

## 別紙2

## ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号			
使用状況	1日の使用時間及び月使用時日数等	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月
	季節変動		
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類		
	使用割合		
	原材料中の成分割合 (%)	いおう分 塩素分	いおう分 塩素分
	1日の使用量		
燃料又は電力	種類	(比重)	(比重)
	燃料中の成分割合 (%)	灰分 いおう分	灰分 いおう分
	発熱量		
	通常の使用量 (L/h)		
	混焼割合		
排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	湿り	最大 通常	最大 通常
	乾き	最大 通常	最大 通常
排出ガス温度 (°C)			
ばい煙の濃度	いおう酸化物 (容量比ppm)	最大 通常	最大 通常
	ばいじん (g/m <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
	塩化水素 (mg/m <sup>3</sup> )	最大 通常	最大 通常
ばい煙量	いおう酸化物 (m <sup>3</sup> /h)	最大 通常	最大 通常
参考事項			

(備考)

- 1 原材料中の成分割合 (%) の欄及び燃料中の成分割合 (%) の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること。
- 2 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
- 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 5 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に一工程中の排出量の変動の状況を記載すること。

## 別紙3

## ばい煙の処理の方法

ばい煙に係る処理施設の工場又は事業場における施設番号					
処理するばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号					
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式					
設置年月日			年 月 日	年 月 日	
着手予定年月日			年 月 日	年 月 日	
使用開始予定年月日			年 月 日	年 月 日	
処理能力	排出ガス量 (m <sup>3</sup> /h)	最大			
		通常			
	排出ガス温度 (°C)	処理前			
		処理後			
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/m <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		いおう酸化物 (容量比 ppm)	処理前		
			処理後		
		塩化水素 (mg/m <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
	ばい煙量	いおう酸化物 (m <sup>3</sup> /h)	最大	処理前	
				処理後	
			通常	処理前	
				処理後	
補集効率 (%)	ばいじん				
	いおう酸化物				
	塩化水素				
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月	時 ~ 時 時間/回 回/日 日/月	
	季節変動				
排出口の実高さ H <sub>0</sub> (m)					
補正された排出口の高さ H <sub>e</sub> (m)					
排出速度 (m/s)					

(備考)

- 1 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には、設置年月日の欄に、変更届出の場合には、設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態（この項において「標準状態」という。）における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとす。
- 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 補正された排出口の高さ H<sub>e</sub> は、別表第4の2の右欄に掲げる算式により算定すること。
- 5 ばい煙処理施設の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。